

---

# MPS-8 Music Playback System

取扱説明書

**PLAYBACK**  
DESIGNS



この度は Playback Designs MPS-8 SACD プレイヤーをご購入いただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本説明書をよくお読みになり、設置や操作方法を充分にご理解の上、正しくご使用ください。  
未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## はじめに

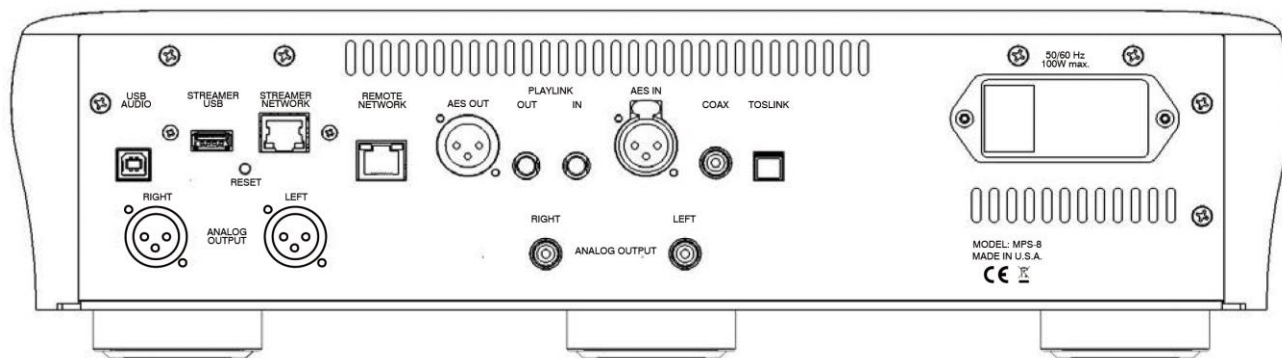
箱から商品を取り出して、中身をご確認ください。

万一不足や損傷がありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

1) MPS-8 本体	x 1
2) 電源ケーブル	x 1
3) 2P/3P 変換プラグ	x 1
4) USB2.0 ケーブル (A-type/B-type)	x 1
5) リモコン	x 1
6) 六角レンチ 3/32 inchi(リモコン用)	x 1
7) 取扱説明書 (本紙)	x 1
8) 保証書	x 1

## 各部説明

## リアパネル



**デジタル出力:**

- AES OUT: AES デジタル出力端子  
対応サンプリングレート: PCM 44.1~192kHz/24bit, DSD 2.8MHz (DOP)
- PLINK OUT: Playback Designs 製品/専用高性能ファイバー端子  
対応サンプリングレート: PCM 44.1~384kHz/24bit, DSD 2.8~11.2MHz

**デジタル入力:**







- USB AUDIO: USB type-B ポート (USB 2.0) 入力端子  
対応サンプリングレート: PCM 44.1~384kHz/24bit, DSD 2.8~11.2MHz  
※DOP は 5.6MHz まで、11.2MHz は Asio にて可
- STREAMER USB: **Stream-X/X2 option インストール時のみ使用可能。** Stream- X/X2 option のマニュアルをご参照ください
- STREAMER NETWORK: **Stream-X/X2 option インストール時のみ使用可能。** Stream- X/X2 option のマニュアルをご参照ください
- PLINK IN: Playback Designs 製品/専用高性能ファイバー端子  
対応サンプリングレート: PCM 44.1~384kHz/24bit, DSD 2.8~11.2MHz
- AES: AES デジタル入力端子  
対応サンプリングレート: PCM 44.1~192kHz/24bit, DSD 2.8MHz (DOP)
- COAX: S/PDIF 同軸デジタル入力端子。  
対応サンプリングレート: PCM 44.1~192kHz/24bit, DSD 2.8MHz (DOP)
- TOSLINK: S/PDIF 光ファイバー入力端子。  
対応サンプリングレート: PCM 44.1~96kHz/24bit

**システムコントロール:**

- RESET: 電源 On 時に RESET ボタンを押すと、本機をリセットします (P12/ファームウェア・アップグレード参照)。
- REMOTE NETWORK: 2023 年 1 月使用不可 (今後のアップデートで使用可能予定です)

## フロントパネル機能



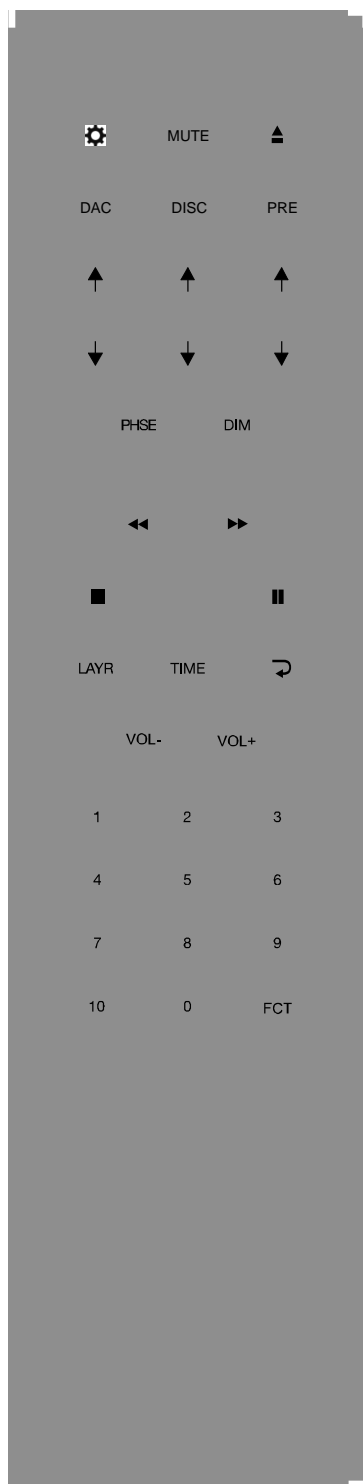
- ボタン:
-  トレイ開/閉
  -  再生/一時停止。開いているトレイを閉じ、曲を即時再生できます。
  -  停止
  -  前のトラックへ
  -  次のトラックへ
  -  スタンバイモード ON/OFF (アクティブモード[駆動]/スタンバイモード切替)

### 【注意】

アクティブモード時、電源を OFF にする場合、リアパネルのメイン電源を OFF にする前に必ずこのスタンバイスイッチを押し、スタンバイモードに移行するのを確認してから、リアパネルにあるメイン電源スイッチを OFF にしてください。

スタンバイモードに移行せず、アクティブモード時からいきなりメイン電源を OFF にしてしまうと、SACDドライブメカや基板に深刻なダメージを与え、故障の原因になる場合があります。

## リモコン



フロントパネルに SETTING MENU が表示されます。DISC ボタンを押し、本機の設定をしてください。



通常操作時、DISC ボタンの下にある上下の矢印ボタンを押すと、選択されている入力端子が切り替わります。SETTING MENU 設定時、この矢印ボタンを押すと、SETTING MENU が切り替わります。



トレイ開/閉

PHSE  
DIM

アナログ出力時、逆相になります。  
ディスプレイパネルの画面が暗くなります。



トラック移動  
長押し（通常操作時）：トラックの早送り・早戻しができます。



停止.



再生。開いているトレイを閉じ、曲を即時再生できます。



一時停止。もう一度押すと再生されます。

LAYR

SACD のレイヤーを選択できます。**レイヤー切替時は、必ずディスクの再生を停止させてください。**

1 回押す：選択されているレイヤーが表示されます。/ 続けて 2 回押す：レイヤーが切り替わります。/ 1 秒以上操作されない：選択されたレイヤーで設定されます。/ CD 再生時はご使用できません。

TIME

下記 2 種類の表示時間の切り替えができます。

- 経過時間
- トラック再生残り時間

1 回押す：既に選択されている方（経過時間またはトラック再生残り時間）が表示されます。

再び押す（5 秒以内）：表示時間が切り替わります。

リピート機能（2 種）：トラックのリピート再生/ ディスクのリピート再生



**数字ボタン**：トラック・ナンバーの選択、再生。

10 番以降の操作：ボタン⑩を繰り返し押ししてください（+10）。

例) トラック 23 の場合: ボタン⑩ x 2 回とボタン③ x 1 回押ししてください。

MUTE

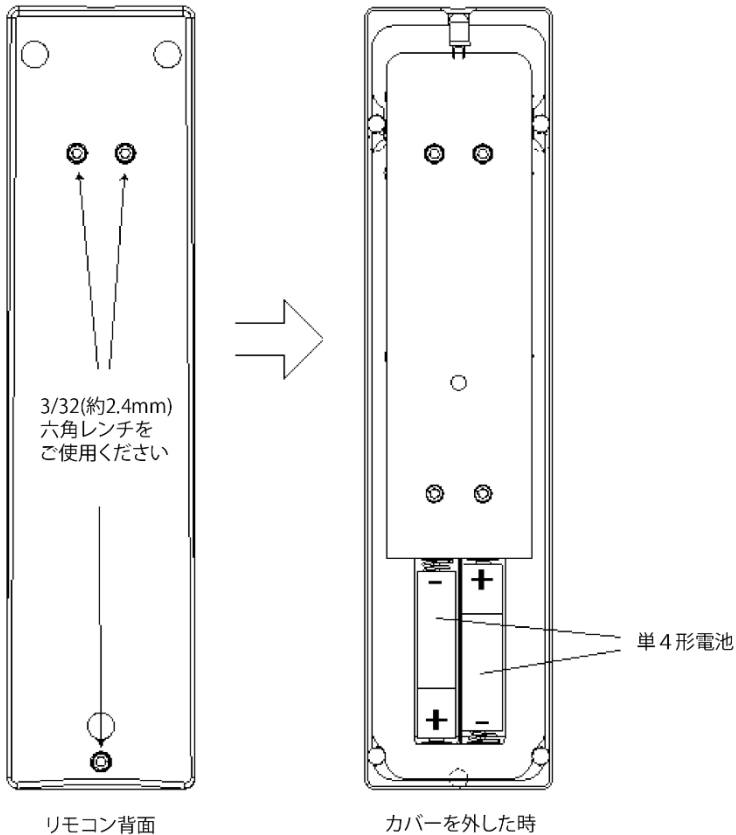
アナログ出力時、ミュートになります。

VOL +/-

アナログ出力のボリュームコントロールができます。出力レベルの変更が可能です。**(出力設定を Variable に変更する必要があります。P9/Setup menu の項目を参照してください)**

上記以外のボタンはご使用いただけません。

## リモコンの電池交換

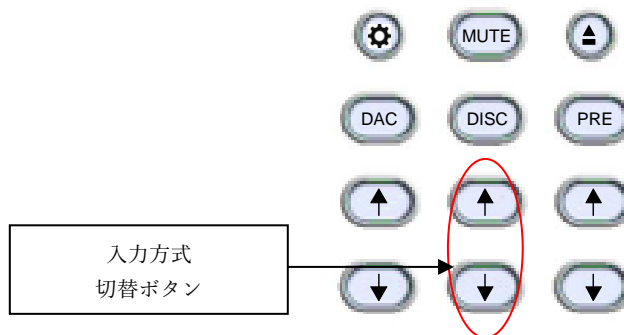


単4形電池2個をお使いください。  
付属の六角レンチを使い左の図の通り、リモコンの背面カバーを外してください。+、-を間違えないように交換用電池を入れてください。

## 設定・デジタル入力選択

IR リモコンの DISC ボタンの下、上下の矢印ボタンを操作することで、デジタル入力選択ができます。本上下の矢印ボタンを操作し、デジタル入力を一つずつ順番に切り替えることができます。

使用しないデジタル入力の機能を停止しておくことで、必要なデジタル入力だけを選択可能にし、操作時間を短縮することができます。（詳細は [P9/Setup menu](#) をご覧ください）例えば、USB 入力と AES 入力しか使わない場合は、他のデジタル入力の機能を停止しておき、矢印ボタンの操作を一回するだけで、USB・AES 間の切り替えができるようになります。



## Windows / MacPC との接続

対応フォーマット:	PCM: 44.1~384kHz / 16~24 bits DSD: 2.8~11.2MHz / DOP 5.6MHz 対応 <b>※DOP は 5.6MHz まで、11.2MHz は Asio にて可</b>
プロトコル接続・接続方法:	USB 2.0 / アシンクロナス・モード。Series8 高機能マスター・クロック搭載
Windows PC 環境:	Windows 7 以降 <b>ASIO 対応音楽ソフト</b> (J River 等) <b>注意：Windows PC の場合、ASIO ドライバー出力以外では音声出力できません。</b>
Mac 環境:	OS X (Snow Leopard / 10.6.6 以降)

PC と続き音楽データを伝送する際は、あらかじめ専用のドライブソフトをインストールする必要があります。Mac OSX (10.6.6 以降) をご使用の場合は、PCM 384kHz まで対応しているので、ドライブソフトをインストールは必要ありません。また、Mac では DSD 再生時 DOP 方式を採用しているため、追加ドライバーも必要ありません(再生は 5.6MHz まで)。Windows をご使用の場合は、ドライバーをインストールする必要があります。

### PC ユーザー様への注意：

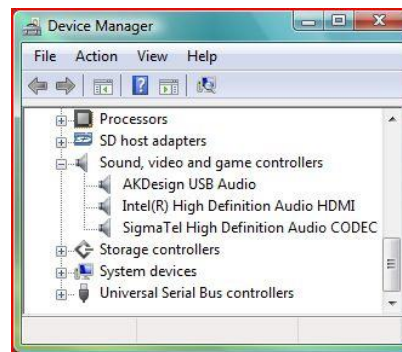
Windows の操作システムは、リアルタイム・システムを採用しておりません。音楽再生時、リアルタイム処理の実行時間を短縮するために、特殊なシステムが採用されています。そのためこのシステムでドロップアウトが発生し、場合によっては、少し長い時間がかかることもあります。PC によっては、製造時にドライバーとシステムプロセスがあらかじめ設定されているために、このようなドロップアウトが発生します。あるいは、ユーザーがインストールしたソフトウェアがリアルタイム・システムのみでの音楽再生しかできない場合に、同様の異常が発生します。下記のフリーソフトをご使用いただき、お持ちの PC でリアルタイム・システム処理が可能かご確認ください。

1. <http://www.resplendence.com> にアクセスし、LatencyMon プログラムをダウンロードしてください。上記 Web サイトにはこの他にも、プログラムの説明と技術情報が掲載してあります。
2. LatencyMon を起動してください。10~15 分経過後、お使いの PC がドロップアウトなく音楽再生ができる環境にあるかどうか、判定されます。

この LatencyMon のプログラムは、フラッシュメモリに転送し持ち運びが可能です。新しい PC をご購入の場合は、上記テストをご確認ください。

### ドライバーソフトのインストール・Windows の接続

1. [www.playbackdesigns.com](http://www.playbackdesigns.com) へアクセスし、最新の USB ドライバーをダウンロードしてください。
2. インストーラーをダブルクリックし、表示される指示に従ってください。
3. 本機を起動し、付属の USB ケーブルを使用し本機の USB 接続端子と、パソコンを接続してください。
4. 本機の USB 入力を選択してください。
5. USB 入力設定時、設定完了には一定時間が必要となります。問題なくダウンロードが完了すると、通知が表示されます。Sound Control パネルにある Sound, Video and Game Controllers タブの下に「AKDesign USB Audio」と表示されることを確認し、ドライバーのインストールとデバイスマネージャーの接続が問題なく完了していることを確かめてください。





6. ご使用の音楽プレイヤーを ASIO 設定にしてください。ご使用環境によって、「AKDesign USB ASIO」あるいは単に「ASIO」と表示されます。場合によっては、音楽再生用 ASIO 出力プラグインが必要となります。
7. 音楽再生ソフトの全ボリュームコントロールを 0db (wide open) に設定し、機動する可能性のあるエフェクトやイコライザーの機能を停止してください。ボリュームの変更は、アナログプリアンプから行ってください。

### Mac との接続

ドライバーをインストールする必要はありません。DSD ファイル再生する場合は、お使いの音楽再生ソフトが DoP 方式で本機へ出力されていることをご確認ください。

### Windows PC 再生

ご使用の PC 内で作動する音楽ソフトで曲の変更を行う場合、USB プロトコルはサンプルレートと自動通信し、本機へデータ伝送します。音楽再生中は、本機のフロントパネルに常時サンプルレートが表示されます。このシステムでは、音質に悪影響を与える可能性のあるサンプルレート変換やシグナル処理は行わず、ご使用の音楽ファイルのビットレートをそのまま使用し、アナログ出力変換を行っています。

### Mac 再生

ネイティブ OSX オペレーションシステムや iTunes はオーディオファア向けになっておらず、サンプルレート変換しかできません。本機と OSX を接続する場合、最も高いと考えられるサンプルレート (384kHz) が自動選択され、全再生曲をこのサンプルレートに変換した後、USB 経由で再生します。この結果、音質は劣化します。Audio/MIDI Setup utility から再生曲のサンプルレートと同じサンプルレートを手動で選択することができますが、再生したいと思っている音楽ファイルのサンプルレートがそれぞれ違う場合、これでは手間がかかります。別会社が開発した iTunes 用プラグインが、上記過程を自動的にを行い、正しいサンプルレートを選択し、完璧な音質で再生しますので、そちらをご使用いただく方法もあります。

### DSD ファイル再生

ドライバーおよび本機のハードウェアは、DSD ファイル 11.2MHz 対応となっています。Windows OS をご使用の場合は、DSD ファイルの読み込み可能な音楽再生ソフトをあらかじめインストールし、USB ドライバーを使用し曲を再生してください。Mac OS をご使用の場合、音楽再生ソフトを DSD 再生時 DoP Standard 方式を選択してください。その場合 DSD5.6MHz まで再生可能です。

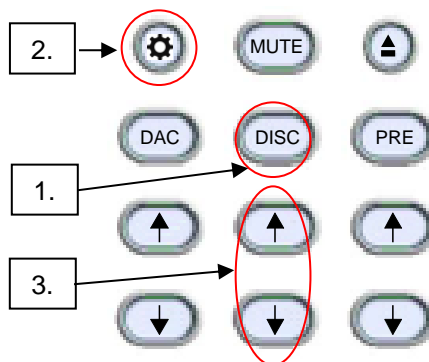
#### 【ご注意】

1. 音楽再生ソフトのボリュームコントロールを全て 0db (wide open) に設定し、起動する可能性のあるエフェクトやイコライザーの機能を停止してください。ボリュームの変更は、アナログプリアンプだけで行ってください。
2. USB 入力での音楽再生から、異なる入力方式 (ディスク再生、AES 入力または Coax 入力) への再生への切り替えもできますが、入力方式を切り替える際は、一度再生を停止してから入力切替をしてください。正しい入力方式が選択されていない場合、本機のクロック・マネージャから正しい周波数が USB ポートに伝送されず、コンピューターソフトが正常に動作しない可能性があります。USB 入力から切り替える場合は、その都度コンピューター上の再生を停止してください。

## SETUP MENU

リモコン操作で、ディスプレイ上に表示されるオプションの切り替えが行えます。初めに①（**下図 1.**）：リモコン上の DISC ボタンを押し、②（**下図 2.**）5 秒以内に SETTING ボタンを押すとディスプレイに Setup menu の最初の項目が表示されます。

③（**下図 3.**）：次の項目に進む場合は、矢印ボタンを押してください。



メニュー設定を変更する際は、PLAY ボタンを押してください。全ての設定が完了したら、SETTING ボタンを再度押してください。メニュー設定画面が終了します。下記項目の設定・確認ができます。

1. **デジタル入力**：それぞれの入力の電源を個別に OFF にでき、通常の操作をする間は、その機能が働くことはありません。例えば、2つの入力しか使わない時は、他の入力の電源を OFF にできます。リモコンの矢印ボタンで2つ入力だけの切り替えができます。

2. **シリアルナンバー**：お持ちの本機のシリアルナンバーの表示。ユーザーによる変更はできません。

3. **ファームウェア**：ファームウェアのバージョンの表示。ユーザーによる変更はできません。

4. **OUT LVL**：アナログ出力レベルを、①Variable(可変)と②Fixed (固定/**-6dB/-3dB/0dB・標準/+3dB/+6db** から選択)に変更します。

① Variable はリモコンで 0~200 の値でボリュームコントロールが可能です。

**注意：Variable 設定時は、値を上げすぎると最大出力を超えて歪みが発生する場合があります。接続機器の破損を防ぐために値を上げすぎないようにお気をつけください (200 (Max) : 13.5Vrms)。**

② Fixed の 0dB は約 4.2 Vrms(1kHz/フルレベル正弦波)です。以下各値の出力レベルです。

-6dB : 2.1Vrms

-3dB : 3.0Vrms

0dB : 4.2Vrms

+3dB : 6.0Vrms

+6db : 8.4Vrms

5. **PLINK OUT**: 本機と 5 series など旧 Playback Designs DAC と接続する場合は "Classic" フォーマットを選択してください。それ以降の機器の場合は "Sonoma" フォーマットを選択してください。

6. **PLINK IN:** 本機と 5 series など旧 Playback Designs DAC と接続する場合は "Classic" フォーマットを選択してください。それ以降の機器の場合は "Sonoma" フォーマットを選択してください。

7. **IR LOCK:** IR コントロール機能が働いた場合、2つの異なる機器に対し1つのコードが使用されるため、不具合が生じる可能性があります。IR LOCK は、本機へ送られる IR コマンドを無効にします。

8. **HOUR:** 使用開始からの累計駆動時間を表示します。

※この使用時間は、組み立て完了後の動作チェックや Playback Designs 内でのランニングテスト、ナスベックでのチェック時間も含まれています。そのためご購入時にある程度経過していますが正常な値です。

## EXTERNAL CLOCK

本機に用いられている高性能クロック・ジェネレーターは、外部クロックとロックする必要がありません。独自の制御アルゴリズムを使用することで、外部からのデジタル入力引き起こすジッターを完全に取り除き、内部クロック回路を完全にシールドしています。マスター・クロックのややこしい設定をする必要はありません。本機は外部クロックも、マスター・クロックの設定も必要ありませんが、より高価な製品に引けをとらない上質な音が再生可能です。

## エージング

本機は、長期にわたるエージングを必要とします。350 時間を超えて、少しずつ能力を発揮し始め、500 時間を超えると安定したパフォーマンスが得られます。

## ファームウェア・アップデート

Playback Design はアルゴリズム、オーディオデータの処理方法を革新しており、新しい機能の追加や、さらに高い音質が実現するたびに、新しいファームウェアをリリースしています。全てオーディオ wave file (WAV) としてリリースされます。他のオーディオ・ファイルと同様に本機と PC を USB ケーブルで接続し、通常の USB-DAC ファイル再生を行うことで、内蔵プロセッサが自動的にファイルを認識し、アップデート行います。この間、自動でボリュームがゼロに設定されるため、音楽の再生はできません。本機はプロセッサを 2 つ搭載しているため、それぞれのファイルをアップデートする必要がある場合があります。インストールされているソフトウェアのバージョンはディスプレイで確認いただけます (P9/Setup Menu をご参照ください)。

### ファームウェアのアップデートについて:

重要なファームウェアのアップデートがあった場合、株式会社ナスペックの HP(<http://naspecaudio.com/>)にて、ご案内させていただきます。

### アップデートの手順:

1. [www.playbackdesigns.com](http://www.playbackdesigns.com) (**Support→Update 8-Series**) へアクセスし、最新のファームウェアファイル (WAV) をダウンロードしてください。
2. 本機の電源を入れてください。
3. USB ケーブルを使用して PC と本機を接続してください。USB AUDIO 入力端子に接続してください。
4. PC でファイル再生ソフトの準備を行います。以下のソフトが使用可能です。

• Windows OS : foobar2000, Roon ※JRiver 非対応

• Mas OS : Audirvana

ファイルを再生してください。アップデート中は、フロントパネルに「WRITING FLASH」と表示されます。アップデートが完了するには 2 分ほどかかります。アップデートが完了すると、フロントパネルは通常の表示に戻ります。

**注意：「WRITING FLASH」の表示中は、システムの変更、PC からの入力、リモコン操作、入力の変更、電源を切るなどは、絶対にしないでください。アップデートが失敗し、深刻なエラーが発生する場合があります。**

5. エラーメッセージがなにも表示されず、通常の画面が表示された場合、アップデートは問題なく完了しております。確認用の音楽を再生している場合は再生を停止し、USB ケーブルを抜いてください。
6. 本機のリアパネルにある電源スイッチを切ってください。
7. 本機の電源を入れ、Setup menu からソフトウェアのバージョンを確認してください。動作に問題がないことを確認してください。
8. **アップデート失敗時**：アップデートが失敗すると、「WRITING FAILURE」と表示されます。その場合、下記手順を行ってください。：
  - a. 本機リアパネルにある電源スイッチを切らないでください。
  - b. PC と本機をつなぐ USB ケーブルを抜いてください。
  - c. 本機をスタンバイモードにした後、リアパネルにある RESET ボタンを押してください。
  - d. フロントパネルにある電源ボタンを押してください。
  - e. USB ケーブルで、PC と本機をつないでください。
  - f. 音楽ファイルを再生して、問題なく動作するか確認してください。
  - g. 再生を停止し、手順 3 から設定し直してください。

## SPECIFICATIONS

入力系統 (デジタル)	S/P DIF Co-axial × 1 系統
	S/P DIF Toslink × 1 系統
	AES/EBU XLR × 1 系統
	PLAYLINK × 1 系統
	USB Storage (A-type) × 1 系統
出力系統 (デジタル)	AES/EBU XLR × 1 系統
	PLAYLINK × 1 系統
システムコントロール	REMOTE × 1 系統
	RESET × 1 系統
消費電力	100W (最大)
サイズ (W×D×H)	460 x 430 x 130 mm
重量	18.2 kg

### 【対応 OS について】

本機は、Windows7 以降の OS、Mac OS X (Snow Leopard) 10.6.6 以降の OS に対応しておりますが、今後の OS のアップデートについては、新たなドライバーが必要になったり、使用時に製品を認識できない可能性など、正しく使用できない場合がある可能性がございます。対応 OS についてご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスベックまでお問い合わせください。

Playback Designs は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。  
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。  
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

## 保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。  
詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。  
修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。


※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Playback Designs** 日本輸入総代理店 株式会社ナスペックまで



株式会社ナスペック  
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510  
FAX : 058-268-7118  
 : 0120-932-455  
E-mail : [info@naspecaudio.com](mailto:info@naspecaudio.com)

2023.5.11 (Ver 1.06)